

佐渡金銀山世界遺産登録推進講演会

佐渡の文化と金銀山



令和2年

1月26日

午後1時30分~午後3時30分 (開場 午後1時)

時事通信ホール (東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル2階)

入場 無料 图 300名 要事前申込(先着順)

裏面「参加申込書」によりお申し込みください。

●講 演

「佐渡の文化と金銀山」

講師池田哲夫氏(新潟大学名誉教授)

●佐渡鷺流狂言

「薩摩守」

出演 佐渡鷺流狂言研究会 シテ 内 田 義 昭

問合せ・申込み先

新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室 〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4-1 Tel: 025-280-5726(直通) Fax: 025-280-5764 E-mail: ngt500080@pref.niigata.lg.jp





主 催: 新潟県、佐渡市

後援:文化庁、「佐渡金銀山」世界遺産登録推進議員連<mark>盟、新</mark>潟県「佐渡金銀山」世界遺産登録推進議員連盟、佐渡市世界遺産登録推進議員連盟、東京新潟県人会、一般社団法人 日本イコモス国内委員会 一般社団法人 佐渡を世界遺産にする会、佐渡を世界遺産にする新潟の会、佐渡を世界遺産にする首都圏の会、新潟日報社、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、朝日新聞新潟救局 共同通信社新潟支局、時事通信社新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、日本ケーブルテレビ連盟信越支部新潟県協議会 佐渡汽船株式会社、佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議

佐渡の文化と金銀山



有楽町駅

●三越

●歌舞伎座

駐車場なし

■ 講師·狂言紹介

■講 演

「佐渡の文化と金銀山」 ^{講師}池田哲夫氏

(新潟大学名誉教授)



佐渡市 (旧両津市) 出身。両津市郷土博物館に勤務の後、 新潟大学人文学部助教授、同教授を経て、2016年に名誉教 授。専門は民俗学。2012年からは、「佐渡を世界遺産にする 新潟の会」会長として佐渡金銀山の世界遺産登録に向けた 普及啓発活動にも精力的に取り組んでいる。著書に『近代の 漁撈技術と民俗』(吉川弘文館) ほか。

■狂 言 「薩 摩 守 | 出演 佐渡鷺流狂言研究会 シテ内 田 義 昭

■あらすじ… 遠国の僧が住吉天王寺に参詣する途中、茶屋に寄り休憩するが、僧は茶代を払う余裕すらない。しかし、天王寺に向かうには船賃が必要。哀れに思った茶屋の主人は、船にただ乗りできる秘策を僧に伝授する。

● 鷺流狂言とは ―

鷺流狂言は、江戸時代に幕府に保護され繁栄したものの、明治時代初めの混乱期に衰退し、現在では山口市・佐賀県神埼市・佐渡市の3カ所にのみ残る貴重な伝統芸能。佐渡鷺流狂言は昭和59年に新潟県無形文化財に指定された。

●佐渡鷺流狂言研究会 -

汐留シオサイト

狂言史研究の第一人者である武蔵野女子大学の小林責教授 (当時)らの強い後押しを受けた真野町教育委員会(当時)の後援 により結成。現在は、伝習講座を開設するとともに佐渡市立真野 中学校で鷺流狂言を指導するなど、後継者の養成に努めている。

京高速道路線

中央通り

昭和通り

お申込みについて

参加ご希望の方は、次の方法でお申し込みください。

● ファックス・郵送

下記「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、お送りください。

FAX:025-280-5764

郵送先: 〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1

新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室あて

● 電話・電子メール

下記「参加申込書」の項目をご連絡ください。

電 話:025-280-5726

電子メールアドレス: ngt500080@pref.niigata.lg.jp

● 専用フォーム

スマートフォン等で二次元コードを読み込んで、 専用フォームから必要事項をご入力ください。

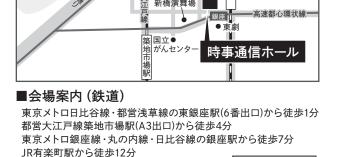


※先着順。定員になり次第締め切らせていただきます。

お問合せ先

新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室

電話:025-280-5726(直通)



新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室 あて FAX: 025-280-5764

佐渡金銀山世界遺産登録推進講演会 参加申込書

※複数名での参加を希望される場合は、代表者のお名前、ご住所、電話番号と代表者を含む参加人数をご記入ください。

(フリガナ) お名前			参加人数	名
ご 住 所 (市区町村名まで)	都 道 市 区 ¶ 府 県 町 村	電話番号		